

大 会 要 項

1. トーナメント方式とする。
2. 試合は7回制とし、1時間45分過ぎたら新しいイニングに入らない。
但し、江戸川区球場使用の場合は別に定める。
決勝戦は7回制の時間無制限とする。但しコールドゲームは適用する。
3. 7回終了又は、制限時間を過ぎて同点の場合は、延長戦は行わずタイブレークを採用。
タイブレークは、無死1, 2塁の継続打順で最大2イニングまでとし勝敗が決まらな最終メンバー9名による抽選を行い勝敗を決定する。
4. コールドゲームを採用する。
3回15点、4回10点、5回以降7点差コールドとする。
5. 強風、降雨、日没等の場合4回にて成立する。
6. ベンチ入りは、代表者、保護者代表、監督、コーチ2名、スコアラー1名、及び、選手は9名以上20名以内とする。
ベンチは登録時抽選にて決める。一塁側後攻とし、三塁側先攻とする。ただし、江戸川区球場使用の場合は、チーム番号が若い方を一塁側とし、先攻後攻は抽選とする。
7. チーム応援は所定の場所で行う。
8. 抗議権は、当該選手及び監督とする。
9. 選手登録
 - 選手の登録数の上限は設けないが、背番号は0番～99番を使用する。
ただし主将は10番、監督は30番、コーチは28、29番とする。
 - 選手及び監督、コーチは、ユニホーム、帽子、ストッキングは統一したものを着用すること。(スパイクの色に関する規定は削除)
ベンチ入りの代表者、スコアラー、引率者代表はユニホームを着用しないこと。
(試合中監督、コーチはウィンドブレーカーを着用しないこと)
 - 選手全員、スポーツ保険に加入していること。但し、連盟は大会期間中に発生した事故に関しては応急処置以外一切の責任は持たないものとする。
10. 参加チームは単独チームとし、一切の補強を認めない。
11. 試合登録は、1時間前に登録すること。ただし、第一試合の場合は30分前とする。
12. ヘルメットは必ず8コ以上用意すること。又、捕手用防具は必ず着用すること。
13. 金属バット、捕手用防具は全軟連公認(J.S.B.B)のものに限る。
14. 試合のスコアは、スコアラーが記録を正確に所定のスコアカードに記入して、試合終了後、球審のサイン記入の上本部に提出すること。
15. 試合中の選手交代は、迅速に行うこと。ランナーコーチは選手とする。
16. 試合前の素振りやベンチ前のみとする。尚、指導者は事故が起こらないよう責任をもって十二分に注意を払うこと。
17. 雨天等による日程変更は、連盟の指示に従うこと。
18. その他の注意及び大会要項は、本連盟及び審判部担当より通達する。
19. 上記に掲載されていない方法と規則は全軟連規則に準用し、特別ルールは本連盟にて決定し実行する。
20. 特 記 ・新型コロナウイルス感染予防ガイドラインを適用する。
 - ・ゴミ等は必ず持ち帰ること。
 - ・雨天等の問い合わせは支部代表に連絡すること。
 - ・駐車場は所定の場所とし、それ以外は駐車禁止とする。

令和2年2月23日

大会運営上の変更事項

江戸川区学童少年軟式野球連盟

1. 投手の投球数制限の導入

投手の一日の試合における投球数の上限を、70球とする。

ただし、4年生以下を対象とする試合においては、60球を上限とする。

投球数制限に達した時点で、打者の打撃が完了していない場合は、当該打者の打撃が完了するか、チェンジになるまで投球を継続することができる。

投球数のカウントは、大会本部が用意した投球数表示板を使用する。

投球数表示板の操作は、当該チームの投球数担当者が、相手チームの投球数の操作をそれぞれ行う。

投球数表示に差異が認められた場合は、球審に申し出たうえで、双方のスコアを確認の上、訂正を行う。

2試合目以降の試合では、当日の累計投球数を起点として表示を行う。

投球数の確定はイニングごとに行い、チェンジ後のプレー開始、または、試合終了をもって確定する。

各イニングごとの投球数は、控え審判が投球数記録用紙に記録する。

投球数は、打者に対して投げられたことをもってカウントする。

例 打者に対して投げられた場合のボークはカウントする。

申告敬遠はカウントしない。

2. 投手の再登板の禁止

一度、野手となった選手は、当該試合において再び投手となることはできない。

3. タイブレークの採用

試合終了時点において同点の場合は、タイブレークを行う。

タイブレークは、継続打順で無死1、2塁で開始し、最大2イニングまで行う。

審判部取り決め事項

●服装等について

- ①アンダーストッキングとソックスを合わせて2枚着用のこと。
(平成27年全日本大会より適用。平成26年7月21日監督幹事会にて決定済)
- ②ユニフォームは統一し、ロングパンツはゴムの入ったものを着用、裾を絞りアンダーストッキングを見せること。
- ③スコアラー、代表者は私服、スポーツウエアで品位を損ねないものを着用し、ベンチ入りする者は、チーム統一の帽子を着用のこと。(子供たちをケアするお母さん2名は除く)

●試合前の練習について

- ①試合前ノック(バットの使用)は第一試合の当該チームのみ可とする。(シートノック除く)
- ②試合前のグラウンド内練習は監督(30番)、コーチ(29番、28番)のみ可(背番号を見せること)とする。

●選手について

- ①選手使用の手袋は、ポケットに全部納めること。
- ②ボールボーイはヘルメット着用を厳守すること。(球審にボールを手渡す際はヘルメットを取らない)
- ③捕手と控え捕手はプロテクター、マスク(スロットガード付)ヘルメット、レガース、ファウルカップ着用のこと。
- ④選手整列の際は帽子を取らない。
- ⑤ランナーコーチはベンチ内でヘルメットをかぶってから、出ること。
- ⑥相手チームへの野次は厳禁。

●応援(観客席)について

- ①決められた場所で応援すること。
- ②ネット裏は試合当該チームの関係者は立ち入り禁止(ビデオカメラは可)
- ③ベンチ内、観客席でのマナー(暴力、暴言等)に対し注意、指導しても改まらない場合は、退場もあり得る。
- ④鳴り物、メガホンの使用は認めるが、自チーム攻撃中のみ使用可。マナーを守り必要以上の使用禁止。
ただし、グラウンドルールを優先する。
- ⑤ベンチ入り以外のチーム関係者は、観客席等から自チームの選手に指示を出すこと禁止する。

●その他

- ①各面に第4審判員を配置する。第4審判員は当該試合の審判員の1人で、判定、アピール、確認に対し助言する権限を有する。
- ②監督は、ピッチャーマウンドへの行き帰りを駆け足で行うこと。
- ③試合前、試合中を問わず、グラウンド内での投球練習、キャッチボールは大人が相手をしないこと。
- ④チーム側からの「ボークだ！」等のコールは禁止する。
(ボークは当該審判員が決めることで、アピールはない)
- ⑤投手が投球動作に入った時、攻撃側ベンチ(応援席を含む)は“威嚇”するような大声を出してはいけない。
- ⑥試合中の携帯電話の使用やベンチを出ての喫煙は禁止。当該試合のベンチ入り認められない場合もあり得る。
- ⑦ファウルボールは水で洗い、きれいにして球審に返すこと。
- ⑧バックネット前のファウルボールは攻撃側の選手が取りに行くこと。
- ⑨2試合目以降の練習(グラウンド内、外野)は、試合の妨げになる場合は禁止する。

シートノック要領

江戸川区学童少年軟式野球連盟

連盟主催大会におけるシートノック要領を記載します。

日没、天候悪化など試合運営の都合によっては、シートノックの時間を取れない場合があります。

シートノック要領

(1) シートノックは、原則、内野のみを使用して行います。外野手も含め、内野内において実施してください。他の面への影響がない範囲で、ボール回しなどシートノック以外も認めます。

なお、他の面への影響がないと連盟が判断した場合、外野を含めシートノックを許可する場合があります。その場合は、登録時にお知らせします。

シートノック時間帯に投手が投球練習を行う場合に限り、監督、コーチが捕手を行うことができます。その場合、必ず捕手用マスクを着用してください。

(2) グラウンドに入ることができるのは、監督、コーチ、選手とし、人数制限は設けません。ただし、危険のない人数、配置で実施してください。

なお、キャッチャー、ノック補助の選手はヘルメットを着用してください。

(3) シートノックの開始は、第一試合の場合は試合開始の20分前、第2試合以降は前の試合終了5分後になります。

(4) シートノックの時間は5分間とします。後攻が先に行い、インターバル1分の後、先攻チームが行います。時間は厳守してください。

(5) シートノック終了後、両チームでグラウンド整備を行ってください。

-25:00 試合終了 ベンチ入替え
-20:00 後攻 シートノック開始
-15:00 後攻 シートノック終了
-14:00 先攻 シートノック開始
-09:00 先攻 シートノック終了
-04:00 グラウンド整備終了
-03:00 整列
00:00 試合開始

なお、シートノックの実施は任意です。シートノックを行わない場合、その旨を審判員に申し出てください。